

報道関係各位

2019年5月13日

2019年3月期決算(IFRS) 従来継続事業が修正業績予想を達成

- 下期に国内事業が復調し、Permasteelisaを除く継続事業は、修正業績予想を達成
- Permasteelisaの損失計上により、最終利益は522億円の赤字
- 2020年3月期は増収増益を予想

株式会社 LIXIL グループ（以下 LIXIL グループ）は本日、2019年3月期の決算を発表しました。

LIXIL グループ COO 山梨広一のコメント

「LIXIL グループは、第4四半期および通期において、従来継続事業が計画通りに進捗し、修正業績予想を達成しました。特に国内事業は、新築、リフォーム双方の需要を取り込み、力強い回復を見せたのに加え、海外市場においても水まわり商品のフルラインアップを提供する取り組みが順調に進捗しています。さらに、事業利益の改善に向けて、従来継続事業のコスト構造見直しを継続するなど、事業基盤は盤石であり、今後も明るい見通しが期待できます。一方で、Permasteelisaの損失計上により、最終利益が大幅な減益となりましたが、すでに原因を特定し、再生計画を進めています。Permasteelisaの収益性回復を目指すとともに、LIXIL グループの潜在能力を最大限に発揮できるよう、本日発表した新経営計画に基づく主要施策を推進してまいります」

■ 決算の概要

売上収益

LIXIL グループの売上収益は、前年同期比 0.2%増の 1 兆 8,326 億円となりました。全社では、Permasteelisaの受注抑制等の影響を受け減収となったものの、Permasteelisaを除く従来の継続事業は、前年同期比 1.5%増となりました。

国内事業に関しては、通期で前年同期比 1.8%の増収となりました。LIXIL Water Technology (LWT) では、国内事業の売上収益は前年とほぼ同水準となったものの、その他の国内事業は増収となり、特に LIXIL Housing Technology (LHT) の下期売上が好調で増収をけん引しました。加えて、LWT、LHT、LIXIL Building Technology (LBT) の3事業において、リフォーム商材の売上比率が前年比で拡大し、通期では国内のリフォーム商材売上が前年同期比 2.2%増となりました。

海外事業については、Permasteelisaの受注抑制を進めた影響等により、減収となりました。LWTは、中国をはじめとするアジア太平洋地域が増収をけん引しました。LWTはEMEA（欧州・中東・アフリカ）地域でも売上が好調で、アメリカでは概ね横ばいとなりました。

事業利益^{※1}

事業利益は、前年同期比 83.2%減の 128 億円となりました。国内事業に関しては、下期の需要回復や販管費抑制などがプラスに作用して、第4四半期には、LWT、LHT、LBTの国内3事業の事業利益が大幅に改善し、通期における減益幅が縮小しました。

海外事業については、人件費や資材費の高騰に加え、Permasteelisa に関連する工事損失引当金の計上を受け、事業利益が減少しました。

最終利益^{※2}

通期の最終利益は、前年同期から 1,068 億円減少し、522 億円の赤字となりました。これは、事業利益の減少や、前年にあった一過性の関係会社・投資不動産等の売却益の剥落、前年に Permasteelisa の売却に関連して計上した繰延税金資産の戻し入れによる税金費用の増加等によるものです。

配当方針

配当方針として、連結ベースで配当性向 30%以上を維持し、2019 年 3 月期の年間の配当金は 1 株当たり 70 円を予定しています。

(単位：億円)

2019 年 3 月期 連結業績		第 4 四半期 (3 カ月)		通期	
			前年同期比		前年同期比
全社	売上収益	4,514	(-1.6%)	18,326	+0.2%
	事業利益	-243	(-)	128	(-83.2%)
	最終利益	-543	(-)	-522	(-)

(単位：億円)

2019 年 3 月期セグメント別業績		第 4 四半期 (3 カ月)		通期累計	
			前年同期比 増減額		前年同期比 増減額
LIXIL Water Technology (LWT)	売上収益	2,127	-1	8,331	53
	事業利益	141	-3	602	-136
LIXIL Housing Technology (LHT)	売上収益	1,359	62	5,408	56
	事業利益	47	31	207	-68
LIXIL Building Technology (LBT)	売上収益	537	-189	2,560	-154
	事業利益	-300	-323	-381	-427
流通・小売り事業(D&R)	売上収益	404	10	1,764	29
	事業利益	1	4	78	8
住宅・サービス事業等 (H&S)	売上収益	168	41	579	56
	事業利益	9	5	35	9
(全社・連結調整)	売上収益	-81	3	-316	-6
	事業利益	-14.1	-32	-412	-19

■ 2020 年 3 月期通期業績見通し

2020 年 3 月期の業績予想は、海外 LWT 事業におけるシナジー商品の拡販や、Permasteelisa の再生計画の実行により、増収増益を計画しています。2020 年 3 月期の売上収益は前年同期比 1%増の 1 兆 8,500 億円、事業利益は 267%増の 470 億円、最終利益は黒字転換し、150 億円を見込んでいます。

※1 IFRS の事業利益は、日本会計基準 (JGAAP) の営業利益に相当。

※2 親会社の所有者に帰属する四半期利益。

【関連資料】

> 2019年3月期決算 説明資料



> 2019年3月期短信



> 新経営計画



■ LIXIL について

LIXILは、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在70,000人超の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。

LIXILなどのブランドを展開する、株式会社LIXILグループ（証券コード: 5938）は、2019年3月期に1兆8,326億円の連結売上高を計上しています。

LIXILについて：www.lixil.com/jp、<https://www.facebook.com/lixilcorporation/>